

令和5年度岐阜県専攻医等確保対策委託業務に関する質問及び回答

(令和5年3月16日現在)

No.	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書 4. (1) ② (説明会の実施回数・スケジュール管理等)	説明会の開催方法で、各プログラムの基本領域ごと1回ずつの説明会開催とあるが、専門研修プログラム総数の49プログラムの説明会が必要という認識であるか。	県が想定する開催形式は、専門研修プログラムの基本領域ごとに1回ずつ説明会を実施することを基本としています。このため、最大19回の開催が見込まれます。49プログラムの全てを19回の説明会の中で説明していただく必要があります。
2	仕様書 4. (1) ② (説明会の実施回数・スケジュール管理等)	基本領域毎の発表ではなく、専門研修基幹施設16施設ごとの発表とする等、弊社独自の提案内容でも差し支えないか。 絶対的に実現しなければならない方式や内容があればご教授ください。	基本領域ごとに合同説明会を行うことを基本としたうえで、いくつかの基本領域を統合してご提案いただくことは差し支えありません。 なお、上記回答(質問No.1)及び仕様書4.(1)④⑤⑥に合致する形でご提案ください。
3	仕様書 4. (2) ②③ (特設サイトの内容、広報)	弊社運営サイト内で岐阜県特設ページの作成、動画ページの作成で差し支えないか。	差し支えありません。なお、説明会動画は希望者が後日視聴可能な形としてください。
4	仕様書 4. (2) ②③ (特設サイトの内容、広報)	特設ページもプログラム総数49ごとの紹介が必要か	特設ページにおいて、49プログラムとサブスペシャリティ領域に関する情報を参照できるようにしてください。
5	仕様書 4. (2) ②③ (特設サイトの内容、広報)	絶対的に外すことができない内容や記載方法があればご教授ください。	詳細は仕様書4.(2)②③に記載のとおりですが、特に、スマートフォンでの閲覧に対応する形式で作成すること、説明会の動画を閲覧可能な状態にすること、及び、広報の手法として、岐阜県の研修プログラムに潜在的に興味を持っていると考えられる者に対し、県特設サイトや説明会等の紹介を行うターゲットメールを1～2回程度送付する業務が必要となることにご留意ください。

No.	質問項目	質問内容	回答
6	仕様書 4. (3) ② (ガイドブックの内容)	専門研修プログラム総数の49プログラムごとに1~2ページの紹介ページが必須という認識であるか。(全て網羅すると最低でも60ページ程の冊子となる認識) 弊社独自の提案内容でも差し支えないか。	県の基本とする形式はご認識のとおりですが、こうした構成のほか に県内プログラムを網羅的かつ効果的に記載する構成があれば、基本の形式にとらわれずご提案いただいて構いません。
7	仕様書 4. (3) ② (ガイドブックの内容)	絶対的に外すことができない内容や記載方法があればご教授ください。	詳細は仕様書4. (3)②に記載のとおりですが、例えば以下にご留意 ください。 ・冊子冒頭に各基幹施設が保有するプログラムを一覧表形式等で表示すること。 ・専門研修基幹施設概要、研修プログラム概要、連携施設、協力施設の一覧、募集要項を記載すること
8	仕様書 全体	広報の時期、ターゲットは今秋にマッチングとなる、現専攻医1年目または医学生に対してで間違いはないか。	事業全体のターゲットは、令和5年度において初期臨床研修医(1年目、2年目)である医師及び医学生を主としており、令和5年度秋頃に専攻医登録を行う2年目初期臨床研修医(令和5年3月現在における1年目初期臨床研修医)を含みます。広報の時期は上記を踏まえ、提案者が適切と考える時期をご提案ください。
9	募集要項 (5) ② (2) 事業企画書(様式3)	企画書は、独自フォーマットでの作成ではなく、様式3を複製し、20ページ以内で作成するという認識で間違いはないか。 また、参考資料は独自のフォーマットで差し支えないか。	企画書は、様式3を複製して作成してください。 参考資料は独自のフォーマットで構いませんが、参考資料を含めて20ページ以内とするようご注意ください。

No.	質問項目	質問内容	回答
10	仕様書 4. (1) (説明会に関すること)	専門研修プログラムに係わる説明会の過去実績はありますでしょうか。ありましたら参考までに参加人数や、配列など教えて頂けると幸いです。	当県が過去に実施した専門研修プログラムに関する実績はありません。なお、県の想定する参加形式は、仕様書及び質問No.1、質問No.2をご参考ください。
11	仕様書 4. (1) (説明会に関すること)	専門研修プログラムに係わる説明会について、差し支えなければ目標とされている参加人数を教えてください。	仕様上目標とする参加人数はありませんが、例年100名前後である県内の専門研修プログラム登録者数の増加を最終的な目標としております。なお、参加者数は県に報告していただくこととしております。